

平成27年度一般財団法人機械システム振興協会から受託し、当協会が、指紋センサーの小型、低コストの特徴を生かした多様な個人認証の新たな利活用のための戦略を策定することを目的として事業を実施しています。事業概要は以下のとおりです。

### 1. 事業名

指紋センサーによる個人認証の新たなニーズに関する戦略策定事業

### 2. 事業概要

指紋による個人認証を用いた小型アイテム（カード、ガジェット等）を有効活用する従来の暗証番号、パスワード等による本人確認が必要だったATM等のサービス、PC、携帯電話等の個人使用が原則の機器に加えて、新たに使用者を識別することで利便性や安全性の向上が期待できる分野（車両運用時の運転者識別、家電およびゲーム機の利用者識別等）において、指紋による個人認証を導入した場合の有効性および利便性の向上等について調査します。その上で社会生活の安心安全や利便性の向上に寄与できる可能性を持った指紋による個人認証技術を活用して、いわゆる情報弱者（新しい情報技術から取り残される人々）を生むことなく個々人に最適な機能やサービスが簡便に享受できる、指紋による個人認証の新たな利活用に関する戦略を策定することを目的とします。

### 3. 事業実施担当グループ

セキュア環境開発グループ